

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにでも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (258)

三五十五

夕食時です。エミちゃんがいきました。

「お兄ちゃん、十五夜お月さんのジューゴ[go]って、ジューゴ[ŋo]でないって、知ってた？」

「いや、知らない。ジューゴ[ŋo]じゃないの？」

「うん。エミ、今日、お母さんに教わった。ジューゴ[go]だって。」

「ふーん。僕はずっと、ジューゴ[ŋo]ヤオツキサンって言ってたなあ。」

「タモツ、掛け算の九九の三五は？」と、お父さん。

「サンゴ[go]ジューゴ[go]。」

「だろ。数字の5はゴ[go]なんだ。」

「そうか。だから、ジューゴ[go]ヤオツキサンなんだ。」

「ベートーヴェンのジャジャジャジャーンだって、第五[go]よね。」と、お母さん。

数字の5（ゴ）は濁音
で発音するんだよ

濁音と鼻濁音を
きちんと使い分けられるように
しよう



【編集部注】「数字の5はゴ[go]なんだ。」とお父さんが言うように、「三五」は[sango]で、[sango]だと「産後」に聞こえます。また、「第五」は[daigo]で、[daiŋo]だと「醍醐」に聞こえ、「十五」は[ɕw:go]で、[ɕw:ŋo]だと「銃後」に聞こえます。